



スーパー 天然石舗装材

ガンコマサ 輝白

荷姿



使用用途



通路



玄関アプローチ



庭



お臺



神社・仏閣



足置き

高強度

スーパーガンコマサの良配合に天然石を加えた高強度天然石舗装材

■ 圧縮強度：28N/mm以上 ■ 曲げ強度：4N/mm以上

施工基準

標準施工厚
使用数量

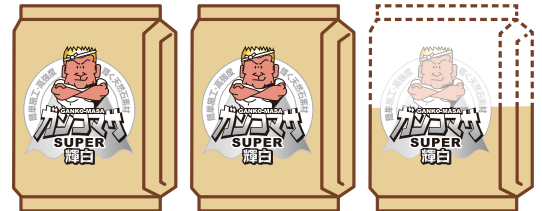
30mm
2.5袋/m²
(62.5kg/m²)



雨天時でも滑りにくい天然石舗装

滑り抵抗値BPNが、乾燥状態・湿潤状態が共に65以上あることから雨天時でも滑りにくい、優れた天然石舗装材です。

滑り抵抗値 (単位:BPN)	各種舗装材	インターロッキング	人造大理石	磁器タイル	天然石粗面仕上	アスファルト	コンクリート	輝白
乾燥状態		60~65	20~25	50~55	90~95	80~95	75~80	78
湿潤状態		45~55	5~15	15~20	10~15	60~70	35~45	68



施工要領 ~ローラー転圧工法~

①下地調整



・クラッシュランC30or40を100mm以上敷設し転圧を行います。
※2%以上の勾配をつけます。
※端部の防塵対策にハンピタンとの併用を推奨します。
※転圧にはプレートタンバ/ハンドガイドローラー等の重機を使用してください。

②敷き均し



・勾配を考慮しながらレーキ等で敷き均します。
※配袋量：2.5袋/m² (施工厚：30mm)
※5m以内の間隔で目地を設置してください。

③第一転圧



・専用ローラーで、1往復転圧を行います。
※最初に端部から転圧を行ってください。

④表面整正



・木コテ・プラスチックコテまたはレーキで不陸整正を行います。
※金コテは使用しないでください。

⑤刷毛引き



・コテ及びレーキ等の跡を消します。
・表面粒子の偏りを無くし均一な仕上がりにします。
※施工表面を軽く掃く程度に行います。

⑥基本散水



・シャワー状の柔らかい散水を全体にまんべんなく行います。
※表面に水が浮き上がる程度の散水を5~10分置きに、3回行なう。
※必要散水量：6~7L/m² (施工厚：30mm)

⑦掘込透水確認



・施工面を掘込み、水の浸透レベルを目視で確認します。
※水が施工厚の2/3以上浸透していることを確認します。不足している場合は、再度散水を行います。

⑧第二転圧



・散水後、専用ローラーで2往復転圧を行います。
※水が浮いた箇所がある場合は、水が引いてから第二転圧を行ってください。
※最初に端部より転圧を行い、その後長尺方向に向かって転圧を行ってください。
※第二転圧は(夏季:10~15分後、冬季:25~30分後)を目安に行ってください。

⑨養生



散水養生



マット(保温)養生

・施工完了後にシャワー状の散水養生を行います。
※夏季施工時には急激な乾燥を防ぐために翌日も「散水養生」を行ってください。
※冬季施工時には散水養生後、初期凍害を防止するために「マット養生」を行ってください。
※給湿気防止のためにマットの上にシート等を被せてください。

②. 敷き均し作業

目地を設置します。
目地材：PE-15
材質：ポリエチレン 発泡
※5mピッチ以内に設置します。
目地材寸法
1000×10×30

舗装断面図



路盤にクラッシュランC-30 (C-40)を施工することにより、透水層の形成・路盤支持力向上・舗装材と路盤の滑着力向上を図ります。再生クラッシュランは主にコンクリート破砕品であるため、含有している炭酸カルシウム成分が表面に溶け出して白くなる(白華現象)事があります。※ロス率はクラッシュランC-30を基準に計測しています。

標準歩掛(100m²/日当たり) 平面施工・障害物なし

土木一般世話役	1.0人	※当社標準歩掛になります。
普通作業員	3.5人	※障害物がある場合は労働費割増しになります。
スーパーガンコマサ 輝白25kg	250袋	※養生費については別途計上してください。
諸雑費	労務費の18%	

※掲載している写真は、撮影時期・天候・印刷等により色合いが異なる場合があります。

- 施工上の注意
- 1.下地(路盤)転圧にはプレートタンバ/ハンドガイドローラー等の重機による転圧を行ってください。
 - 2.使用するコテは木コテもしくはプラスチックコテを使用してください。金コテは使用しないでください。
 - 3.降雨・降雪時には、施工しないでください。
 - 4.路盤での使用はしないでください。
 - 5.凍結の恐れがある為、日中の気温が5℃以下の時は、施工しないでください。
 - 6.夏季は散水養生を行ってください。
 - 7.冬季は施工後にマット(保温)養生をおこなってください。
 - 8.施工後に降雨が予想される時は、シート養生を施してください。